

かわら版 ”とちぎのまちの駅”

第18号 2005.3.31

発行人 まちの駅ネットワークとちぎ(ま・ね・とち)
吉田恵子

§ 「花まつりフォークライブ」&「まちの駅連携物産展」 ご報告 §

「かわら版」第17号でお知らせした「花まつりフォークライブ in 長岡」と同時開催の「まちの駅連携物産展」は、3月27日、無事終了しました。

2日前には真冬に戻ったような寒さと雪だったという長岡市。
でも当日は暖かな春の陽射しがふりそそぐ、とてもよいお天気に恵まれました。

長岡駅から徒歩5分の目抜き通りに面した「ながおか市民センター」。
「花まつりフォークライブ」は、まちの駅がある1階の特設ステージで開催されました。

手弁当で長岡に駆けつけてくださったのは、岩手のやなぎさん、秋田のきよかんさんご夫妻、福島のGT03(がんばれとおさん)、ひろさん、ギタこまさん、埼玉のおとさん、モスリンさん、ひるねこさん、キャサリンさん、東京の浜田伊織さん、野呂善蔵さん、SOICHIROさん、栃木の阿部和正さん。

やなぎさん、浜田さん、SOICHIROさんはプロ。他のみなさんはJRマンやタクシードライバーなど、他のお仕事をしながら、歌い手としても活動をされている方々です。

みなさんの歌は、ぬくもりがあって、すばらしかった！ 歌う人の優しい心がギュっとつまってました。

「まちの駅連携物産展」には、地元の長岡市はじめ、見附市、新潟市、東京都町田市、そして大平町のみなさんが大集合。「これぞ！」という品々が所狭しと並べられました。

「これからまちの駅になってもいいかな？」と思案中の長岡の酒屋の奥さんが、まちの駅になったばかりの新潟市の女性駅長さんと仲良くお話をしたり、とみなさん、販売の合い間に交流も深めていました。

後片付けの最中には、ライブを聴いてくださった年配の女性がやって来て、「私の孫にも伝えたい。よかった。ありがとう」と涙ぐみながらお話をされるシーンもありました。

参加者のみなさん、協力いただいたみなさんの優しさがあふれていた今回のイベント。
「まちの駅は人の駅。心と心の交差点」ということを改めて感じた、春の一日でした。

最後に、歌い手のみなさん、ながおか市民センターのみなさん、大平町の「香秘と芸術と人の駅」のみなさんをはじめ、今回のイベントに関わってくださった方、応援して下さった方に、改めてお礼を申し上げます。

緊急告知！！ 大平町の「香秘と芸術と人の駅」の駅長さん、ラジオに出演

4月9日(土)午後2時～3時 栃木放送「土曜ちゃっかり亭」に、山根駅長さんが出演。
長岡の「花まつり」の様も聞けるとおもいますよ。みなさん、お聞き逃しなく！！